

2021年度 事業報告書

2021年4月1日から2022年3月31日まで

特定非営利活動法人放課後遊ぼう会

1 遊び場づくり事業

(1) 宝塚市の7市立小学校において、放課後の遊び場を次のとおり開催しました。

※()内は2020年度の数値

事業名	開催小学校名	開催回数	参加者数(人)					平均参加者数(人)	児童数(人)	児童数当たりの参加者の割合(%)
			幼児	小学生	中高生	その他	合計			
宝塚市放課後子ども教室	仁川	100 (65)	440 (124)	4,853 (2,014)	0 (0)	432 (108)	5,725 (2,246)	57.3 (34.6)	636 (673)	9 (5)
	末成	48 (25)	140 (5)	1,259 (710)	0 (0)	154 (12)	1,553 (727)	32 (29)	334 (337)	10 (9)
	光明	37 (23)	51 (63)	1,996 (1,134)	0 (0)	68 (57)	2,115 (1,254)	57 (55)	175 (174)	33 (31)
	良元	31 (23)	79 (109)	1,722 (1,409)	0 (0)	121 (78)	1,922 (1,596)	62 (69)	316 (331)	20 (21)
	逆瀬台	8 (9)	3 (5)	371 (481)	0 (0)	- (5)	374 (491)	47 (55)	280 (284)	17 (19)
	安倉	6 (4)	4 (19)	661 (445)	0 (0)	6 (19)	671 (483)	112 (121)	529 (533)	21 (23)
	宝塚	11 (8)	25 (46)	1,572 (1,179)	0 (0)	31 (46)	1,628 (1,272)	148 (159)	848 (887)	17 (18)
	小計	241 (157)	742 (371)	12,434 (7,372)	- ()	812 (325)	13,988 (8,069)	58.0 (51.4)	3,118 (3,219)	
兵庫県子どもの冒険ひろば	仁川	35 (26)	67 (20)	530 (573)	0 (1)	84 (23)	681 (617)	19 (24)	636 (673)	3.1 (3.5)
自主事業	仁川	3	2	30	0	2	34	11	636	1.8
合計	279 (183)	811 (391)	12,994 (7,945)	- (1)	898 (348)	14,703 (8,686)	52.7 (47.5)			



- ・毎回、放課後遊ぼう会所属のプレイリーダーを2人ずつ配置し、安全管理等を担当しました。
- ・登録ボランティア（校区外のボランティアであるサポーターを含む）は全校区で207人、ボランティアの延べ参加者数は649人でした。
- ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、緊急事態宣言の期間（8月30日～9月30日）と、まん延防止等重点措置の期間（1月19日～3月21日）の開催は休止しました。
- ・宝塚市青少年課と各校と相談して、新型コロナウイルス感染拡大防止対策を実施しながら開催しました（保護者の了承確認、体調確認、遊ぶ前後の手洗い、マスク着用、消毒、スタッフの体調確認など）。ほとんどの学校で室内開催はできず、運動場のみで開催しました。室内開催ができないため、予定していた開催の約2割が雨や暑さのために中止となりました。

（2）市内の放課後子ども教室への支援

例年、宝塚市「放課後の子どもの居場所づくり地域スタッフ支援事業」として、市内の放課後遊ぼう会型以外の放課後子ども教室にプレイリーダーを派遣し、開催を手伝ったりカプラ大会を開催したりして各校区の実行委員会を支援してきました。

2年前からは、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、再開できていない校区や再開できても開催回数の少ない校区があり、プレイリーダーを派遣して支援をすることはできませんでした。2021年度は放課後子ども教室休止校1校において、学校からのご依頼によりカプラ大会を開催しました。

中山五月台小学校での
カプラ大会の様子 →



2 子どもの育成に係る人材育成事業

宝塚市「放課後子ども教室」にかかわるボランティアを養成するための「安全管理・応急手当 講習会」を2回、開催しました。（宝塚市「放課後の子どもの居場所づくり地域スタッフ支援事業」）

日 時 1回目：11月17日（水）10時～12時
2回目：11月24日（水）10時～12時
場 所 1回目：宝塚市立中央公民館 201・202 学習室
2回目：宝塚市立西公民館 セミナー室
参加者数 1回目：11人
2回目：10人

講座内容（1回目、2回目とも）

- ① 安全管理の必要性和方針
- ② ハザードについて（物的ハザード・人的ハザード）
- ③ その他の危険要因（警報、雷、熱中症、光化学スモッグ、微小粒子状物質、害虫、ノロウイルス対応、新型コロナウイルス対応、アレルギー、不審者対応、火事・地震対応）

- ④ 開催前の準備（状況確認、配置決め、見回り、遊具の点検、救急箱の準備等について）
- ⑤ ケガ・事故・トラブル時の対応（状況把握・記録、連絡、緊急性の判断、医療機関への搬送、二次災害防止、原因究明・再発防止、情報の共有、事故に備えて、保険申請について）
- ⑥ 応急手当について（擦傷・切傷、刺傷、出血、鼻血、歯折、指切断、突き指・打撲・捻挫、眼のケガ、火傷、骨折等）
- ⑦ 頭部のケガについて
- ⑧ 心肺蘇生法について



3 子どもの育成に係る啓発事業

(1) 遊びの重要性などをお便りで啓発しました

7 小学校において、毎月、小学校と幼稚園の保護者向けに発行しているお便りに、その月の開催予定とともに、遊びの重要性や遊び場づくりの意義、自分の身を守るための注意点、大人の役割などを伝えるための啓発文を載せました。発行月と啓発タイトルは以下のとおりです。ただし、コロナの影響により、月によってはお便りを発行しなかった学校がありました。

お便り発行月	啓発文タイトル
6月・7月	熱中症を予防しよう！
9月	遊びの三問 「やりたいことがない」子どもたち
10月	運動能力、落ちていませんか？ ～遊びが育む「運動能力」～
11月	子どもの目と外遊び
12月	遊び場における2つの危険
1月	ケガをふせごう！ ブランコが消えていく！ 遊具で遊ぶときのやくそく
2月	遊びが育む自己肯定感とやる気

子どもの目と外遊び

この数十年間で **子どもの近視が驚くほど増えて**います。近視の発症には遺伝的要因と環境要因が関与すると考えられ、原因については研究中ですが、**外遊びの時間が減ったことや、スマホやゲーム機など近くを見る時間が長くなっていることが関係している**と考えられています。

正常の眼はきれいな球状ですが、近視は眼球が後ろに伸びてラグビーボールのようになっています。伸びてしまった眼球を短くすることはできません。特に小学生から中学生くらいの成長期には眼球が後ろに伸びやすく、眼球の伸びを抑えることが大事ですが、**明るい太陽光を浴びると眼球の伸びを抑えられる**、つまり、**近視が進みにくくなる**ことがわかってきました。



1日に2時間以上、外遊びをしている子どもは、近視の発症率が低いという報告もあります。小学生の課外活動時間を増やすことにより、近視の子どもを減らすことに成功した国もあるそうです。

最近の研究では、近視があると緑内障などの発症リスクが高まることがわかってきました。新型コロナウイルスの影響により、外で過ごす時間が減っていると思いますが、**子どもが放課後に外で遊ぶことは、ストレス発散や体力の維持・向上に役立つだけでなく、近視の予防や、将来にわたって視力を維持するのにもよい影響が期待できそうです。ぜひ遊び場で外遊びを楽しんでください。ご参加をお待ちしています。**

文科省の学校保健統計調査結果、近視研究会の Web サイト、1 月放送の NHK スペシャル「わたしたちの目が危ない 超近視時代サバイバル」、昨年 9 月放送の NHK ラジオ「三宅良夫のマイ近視!」、Invest Ophthalmol Vis Sch. 2007 Aug;4(8):3524-32 などをご参考としています。

(2) ホームページを毎月更新し、開催中の様子を紹介しました

(3) 啓発セミナーを開催しました

子どもの遊びの重要性や遊び場づくりの意義を市民に広く知っていただくための啓発セミナーを開催しました。(宝塚市「放課後の子どもの居場所づくり地域スタッフ支援事業」)

毎日の遊びは、子どもたちが心も体もたくましく成長するうえで重要な役割を果たしていますが、コロナ禍で子どもの遊びにも大きな影響が出ています。今の子どもを取り巻く環境や、未来を担う子どもたちのために地域の大人ができること等について、遊び場づくりや行政と市民とのパートナーシップに造詣の深い梶木先生にお話ししていただきました。

日 時：2022年2月25日(金) 10時～12時

場 所：宝塚市立男女共同参画センター・エル 学習交流室 1

講 師：梶木 典子 氏(神戸女子大学家政学部教授)

タイトル：危機的状況における子どもの遊び ～地域で子どもがのびのび育つには～

参加者数：10人



4 子どもの育成に係る調査事業

(1) 遊ぼう会開催校における危険箇所を定期的に調査しました

遊具の破損や腐食、つまずきの原因となる箇所、体は抜けるが頭部は抜けない危険な幅の隙間など、ケガや事故の原因となる危険箇所を定期的に調査し、各校に報告しました。

5 事業実施体制

(1) 運営委員会開催

回数・時間：毎月1回(緊急事態宣言とまん延防止等重点措置の期間を除く)、合計7回開催。時間は10時～11時30分に短縮して開催した。

場 所：くらんど人権文化センター(6回)、Zoomによるオンライン開催(1回)

参加者数：7校区の代表者、チーフプレイリーダー、役員、延べ60人

内 容：新型コロナ対策・安全管理につき共有、情報交換、開催内容・広報紙等につき検討

(2) プレイリーダー会開催

回数・時間：月1、2回、合計13回開催。

時間は1時間30分～2時間に短縮して開催した。

場 所：くらんど人権文化センター(10回)、Zoomによるオンライン開催(3回)

参加者数：プレイリーダー、理事長、延べ125人

内 容：新型コロナ対策、各校の情報交換、ハザードの確認、事前点検、応急手当、三角巾の使い方、骨折対応、頭部のケガ対応、熱中症対策、ノロウイルス対策

※プレイリーダーは別に、消防署において救急救命講習受講(2年に1回)

(3) すり合わせ開催・出席

開催校：7 小学校

参加者：プレイリーダー、理事長、延べ 14 人

回 数：各校 1 回ずつ、合計 7 回

内 容：学校、育成会、放課後遊ぼう会のそれぞれのルールの確認、ケガ対応、緊急時対応の確認など

(4) 実行委員会主催の定例会出席

開催校：仁川小学校

参加者：プレイリーダー、理事長、延べ 10 人

回 数：5 回

内 容：当月の開催中の様子につき情報共有、ボランティアの確保や開催内容についての相談等

2021年度 活動計算書

2021年4月1日から2022年3月31日まで

特定非営利活動法人放課後遊ぼう会

科目・摘要	金額(単位:円)		
I 経常収益			
1 受取会費			
正会員受取会費	100,000		
賛助会員受取会費	77,000	177,000	
2 受取寄付金			
受取寄付金		3,243,116	
3 受取助成金			
ひょうご・みんなで支え合い基金	300,000		
仁川小学校PTA助成金	100,000		
末成小学校PTA助成金	10,000		
光明小学校PTA助成金	10,000	420,000	
4 受取補助金			
子どもの冒険ひろば補助事業		388,680	
5 受取委託金			
放課後の子どもの居場所づくり地域スタッフ支援事業		2,581,907	
6 事業収入			
遊び場づくり事業	0		
居場所づくり事業	0		
子どもの育成に係る人材育成事業	0		
子どもの育成に係る啓発事業	0		
子どもの育成に係る調査事業	0	0	
7 その他収入			
受取利息	73		
雑収益	52,224	52,297	
経常収入合計			6,863,000
II 経常費用			
1 事業費			
(1)人件費			
役員報酬	265,752		
給料手当	4,400,878		
法定福利費	26,519		
福利厚生費	1,728		
通勤手当	116,340		
人件費計	4,811,217		
(2)その他経費			
講師謝金	30,000		
旅費交通費	11,045		
消耗品費	104,164		
印刷費	124,154		
通信費	81,117		
会議費	8,691		
水道光熱費	83,276		
地代家賃	414,720		
保険料	33,504		
租税公課	2,000		
減価償却費	62,347		
広告宣伝費	12,100		
雑費	2,488		
その他経費計	969,606		
事業費計		5,780,823	

2 管理費			
(1) 人件費			
役員報酬	94,248		
給料手当	688,727		
法定福利費	4,174		
福利厚生費	272		
通勤手当	1,535		
人件費計	788,956		
(2) その他経費			
旅費交通費	560		
消耗品費	4,418		
印刷費	14,056		
通信費	13,768		
会議費	109		
水道光熱費	13,108		
地代家賃	65,280		
保険料	2,636		
減価償却費	9,814		
雑費	983		
その他経費計	124,732		
管理費計		913,688	
経常費用計			6,694,511
当期経常増減額			168,489
Ⅲ 経常外収益			0
Ⅳ 経常外費用			0
当期正味財産増減額			168,489
前期繰越正味財産額			6,761,859
次期繰越正味財産額			6,930,348

2021 年度 貸借対照表

2022 年 3 月 31 日現在

特定非営利活動法人放課後遊ぼう会

科目	金額(単位:円)		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預貯金	7,374,536		
遊び場づくり事業特定資産	2,400,000		
流動資産合計		9,774,536	
2 固定資産			
(1)有形固定資産			
工具器具備品	108,243		
固定資産合計		108,243	
資産合計			9,882,779
II 負債の部			
1 流動負債			
預り金	1,911,338		
未払金	1,041,093		
流動負債合計		2,952,431	
2 固定負債			
固定負債合計	0		
負債合計			2,952,431
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		6,761,859	
当期正味財産増減額		168,489	
正味財産合計			6,930,348
負債および正味財産合計			9,882,779

2021年度 財産目録

2022年3月31日現在

特定非営利活動法人放課後遊ぼう会

科目・摘要		金額(単位:円)	
I 資産の部			
1 流動資産			
現金	現金手許有高	59,071	
普通預金	池田泉州銀行仁川支店	2,961,201	
普通預金	関西みらい銀行宝塚支店	1,306,566	
郵便振替貯金		3,047,698	
遊び場づくり事業特定資産			
	池田泉州銀行仁川支店(定期預金)	2,400,000	
流動資産合計			9,774,536
2 固定資産			
(1)有形固定資産			
工具器具備品	コピー複合機	108,243	
固定資産合計			108,243
資産合計			9,882,779
II 負債の部			
1 流動負債			
預り金	仁川小実行委員会(開催費返金分)	650,981	
	末成小実行委員会(開催費返金分)	482,419	
	光明小実行委員会(開催費返金分)	158,313	
	良元小実行委員会(開催費返金分)	207,831	
	逆瀬台小小実行委員会(開催費返金分)	166,478	
	安倉小実行委員会(開催費返金分)	76,023	
	宝塚小実行委員会(開催費返金分)	162,810	
	源泉所得税(過納金)	▲ 95	
	雇用保険料	6,578	
未払金	委託金返金分(放課後の子どもの居場所づくり地域スタッフ支援事業)	1,041,093	
流動負債合計			2,952,431
2 固定負債			
固定負債合計		0	0
負債合計			2,952,431
正味財産			6,930,348

計算書類の注記

1. 重要な会計方針

計算書類の作成は、NPO法人会計基準(2010年7月20日 2017年12月12日最終改正 NPO法人会計基準協議会)によっています。

(1) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産は、法人税法の規定に基づいて定率法で償却をしています。

(2) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込経理方式によっています。

2. 事業別損益の状況

事業別損益の状況は以下の通りです。

(単位:円)

科目	遊び場づくり 事業	居場所づくり 事業	子どもの育成 に係る 人材育成事業	子どもの育成 に係る 啓発事業	子どもの育成 に係る 調査事業	事業部門計	管理運営部門	合計
I 経常収益								
1. 受取会費						0	177,000	177,000
2. 受取寄附金	2,528,116		40,000	25,000		2,593,116	650,000	3,243,116
3. 受取助成金	379,200					379,200	40,800	420,000
4. 受取補助金	388,680					388,680		388,680
5. 受取委託料	2,253,563		183,957	144,387		2,581,907		2,581,907
6. 事業収益						0		0
7. その他収益						0	52,297	52,297
経常収益計	5,549,559	0	223,957	169,387	0	5,942,903	920,097	6,863,000
II 経常費用								
(1) 人件費								
役員報酬	247,947		10,896	6,909		265,752	94,248	360,000
給料手当	4,122,311		171,855	106,712		4,400,878	688,727	5,089,605
法定福利費	24,742		1,087	690		26,519	4,174	30,693
福利厚生費	1,612		71	45		1,728	272	2,000
通勤手当	109,209		4,364	2,767		116,340	1,535	117,875
人件費計	4,505,821	0	188,273	117,123	0	4,811,217	788,956	5,600,173
(2) その他経費								
講師謝金				30,000		30,000		30,000
旅費交通費	10,607		268	170		11,045	560	11,605
消耗品費	102,384		1,089	691		104,164	4,418	108,582
印刷費	118,171		3,661	2,322		124,154	14,056	138,210
通信費	76,672		2,720	1,725		81,117	13,768	94,885
会議費	8,625		41	25		8,691	109	8,800
水道光熱費	77,696		3,415	2,165		83,276	13,108	96,384
地代家賃	386,934		17,003	10,783		414,720	65,280	480,000
保険料	32,382		687	435		33,504	2,636	36,140
渉外費	0		0	0		0	0	0
租税公課	2,000		0	0		2,000	0	2,000
減価償却費	58,170		2,556	1,621		62,347	9,814	72,161
広告宣伝費	12,100		0	0		12,100	0	12,100
雑費	2,477		0	11		2,488	983	3,471
その他経費計	888,218	0	31,440	49,948	0	969,606	124,732	1,094,338
経常費用計	5,394,039	0	219,713	167,071	0	5,780,823	913,688	6,694,511
当期経常増減額	155,520	0	4,244	2,316	0	162,080	6,409	168,489

3. 使途等が制約された寄付金等の内訳

使途等が制約された寄付金等の内訳(正味財産の増減及び残高の状況)は以下の通りです。

当法人の正味財産は6,930,348円ですが、そのうち2,400,000円は下記のように使途が指定されています。

したがって使途が制約されていない正味財産は4,530,348円です。

(単位:円)

内容	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	備考
仁川小PTA助成金	62,716	100,000	162,716	0	遊び場づくり事業のうちの「仁川小放課後遊ぼう会」開催のための助成金
末成小PTA助成金	0	10,000	10,000	0	遊び場づくり事業のうちの「末成小放課後遊ぼう会」開催のための助成金
光明小PTA助成金	0	10,000	10,000	0	遊び場づくり事業のうちの「光明小放課後遊ぼう会」開催のための助成金
遊び場づくり事業 特定資産	2,400,000	0	0	2,400,000	受取寄付金のうち、使途を遊び場づくり事業に指定
合計	2,462,716	120,000	182,716	2,400,000	

4. 固定資産の増減内訳

固定資産の増減は以下の通りです。

内容	期首取得価額	取得	減少	期末取得価額	減価償却累計額	期末帳簿価額
有形固定資産 工具器具備品	518,400	0	0	518,400	410,157	108,243
合計	518,400	0	0	518,400	410,157	108,243

5. 役員及びその近親者との取引の内容

役員及びその近親者との取引は、以下の通りです。

科目	計算書類に計上された金額	うち役員及び近親者との取引
(活動計算書)		
受取寄付金	3,243,116	1,540,000
地代家賃	480,000	480,000

6. その他特定非営利活動法人の資産、負債及び正味財産の状態並びに正味財産の増減の状況を明らかにするために必要な事項

・ 事業費と管理費の按分方法

各事業の経費及び事業費と管理費に共通する経費のうち、通信費・水道光熱費・地代家賃・火災保険料については従事割合に基づき按分しています。